



湖北工業株式会社

〒529-0241 滋賀県長浜市高月町高月1623番地
TEL 0749-85-3211 FAX 0749-85-3217

<https://www.kohokukogyo.co.jp>



About Us

湖北工業について

クオリティ企業を目指して

湖北工業は、様々な電子機器に必要となる
アルミ電解コンデンサ用リード端子と、
世界の情報通信インフラを支えている
光部品・デバイスのリーディングカンパニーです。
豊かな個性を発揮し独自の技術力で
世界に支持される製品を
生み出し続けています。

グローバルニッチNo.1。
私たちは、世界に誇れる
ものづくりを展開しています。

当社は、1959年の創業以来、あらゆるエレクトロニクス製品に欠か
せないアルミ電解コンデンサ用リード端子の製造・販売を進めて
まいりました。主力事業で培った精密加工技術を活かし光通信分
野へ事業を展開、高付加価値製品の開発に取り組んでいます。
当社の経営理念は、「新しい価値の創造を通じて、オンリーワン企
業を目指す」ことにあります。
これからも引き続き、社員一人ひとりの個性を活かした全員参加
型の経営を実践していくことで、エレクトロニクス産業等の発展と
社会に貢献できるよう、さらなる努力を重ねてまいります。

代表取締役社長 CEO 石井 太

経営理念

豊かな個性を尊重する全員参加型の経営を実践し
新しい価値の創造を通じて、オンリーワン企業を目指す

豊かな個性を尊重する

経営目標の実現を目指して、社員個々人の持ち味を活かした人材育成を行
い、それぞれの役割意識を高め、個性が発揮できる場を創り出します。

全員参加型の経営を実践

自由闊達な議論を行い、全員が一致協力して目標達成に邁進します。適
材適所と権限委譲を行い、能率的な業務遂行体制を創り出します。

新しい価値の創造

社会の変化を先取りし、スピーディーな研究開発を行い、常に独創的な製品を提
供します。知識と技能を活かして改善活動、改善提案に積極的に参加します。

オンリーワン企業を目指す

ニッチ分野で世界一企業を目指し高付加価値企業を実現します。

湖北工業が できる こと

アルミ電解コンデンサ用 リード端子の製造・販売

湖北工業のアルミ電解コンデンサ用リード端子は自動車やAIサーバーのほか世界の様々な電子機器の中で活躍しています。自社
設計の生産設備や長年のノウハウを基に各分野の様々な要望に応え続け、その生産量は世界トップシェアを誇っています。

光ファイバ通信用 光部品・デバイスの製造・販売

今や社会インフラと化した情報通信は、世界中に張り巡らされた光ファイバ通信が支えています。この光ファイバ通信に、湖北工業
の光部品・デバイスは使われており、特に高い信頼性を要求される海底ケーブルの中で活躍しています。

各種産業機器用・特殊ファイバ用 高純度石英ガラスの製造・販売

高純度石英ガラス製品は、半導体製造装置、医療機器、光ファイバなど様々な産業用途で使用されていますが、加工が難しく複雑
な形状への成型が困難と言われています。湖北工業では、独自の「スラリーキャスト」製法で、新しい可能性を提案しています。

KOHOOKU'S KEYWORD

Business

アルミ電解コンデンサ用リード端子事業

世界シェア60%以上を誇る 様々な機器に対応した製品づくり

あらゆる電子機器に欠かせないアルミ電解コンデンサ市場では、急速に電装化が進む自動車分野や、AIサーバー・データセンタ分野を中心に、高効率・高信頼をはじめとした高機能化へのニーズが加速しています。

湖北工業は、生産設備の自社開発を通じて、約70年にわたり培ってきた技術力を強みに業界をリードする高機能・高信頼な製品を実現、アルミ電解コンデンサの特性や環境性能向上に貢献しています。

また、月産50億個を超える生産能力を有し、圧倒的な安定供給体制で市場を支えています。

アルミ電解コンデンサ用 リード端子のコア技術

当社は、アルミ電解コンデンサ用リード端子の製造において求められる技術を創立以来磨き続けています。

- 300個／分を実現する異種金属の高速高信頼溶接技術
- 溶接・プレス機、洗浄/化成機の独自開発による一貫生産体制
- 漏れ電流特性改善等によるコンデンサの高効率化を実現



Business

光 部 品 ・ デ バ イ ス 事 業

世界の情報インフラ、 海底ケーブルネットワークを支える 湖北工業の光デバイス

ボーダーレス化が広がる中で、大陸間の情報通信の99%を担う海底ケーブルネットワークはますます重要になっています。湖北工業の光アイソレータは世界の50%以上のシェアを有し、世界の情報インフラを支えています。

25年間メンテナンスフリーの高信頼・高品質を実現するとともに、情報通信容量の拡大に対応する絶え間ない技術開発を進めています。

ものづくりへの取り組み

- 海底ケーブル、データセンタなどの分野へ早くから進出し、多くの実績により顧客信頼を得ています。
- 素子作りからデバイス組立までの一貫生産により高品質と高信頼性を確立しています。



光 部 品 ・ デ バ イ ス の コ ア 技 術



当社は次のコア技術に基づき、光ファイバ端末などの光部品、光アイソレータなどの光デバイスを製造販売しています。

- 水深8,000メートルで25年間メンテナンスフリーの光デバイスプラットフォーム
- 高性能光素子と精密組立のすり合わせ技術

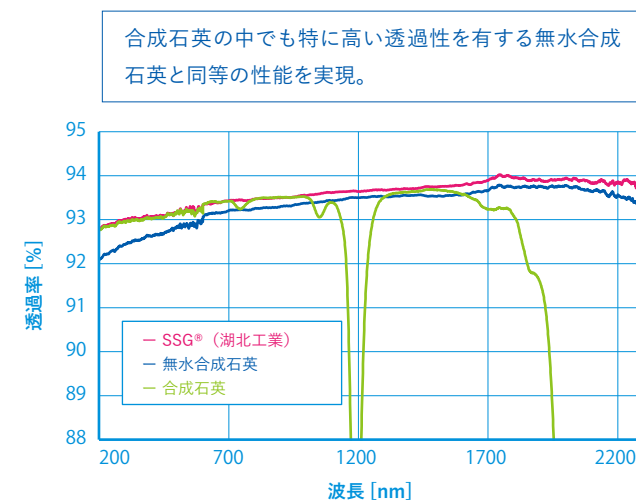
Business

高純度石英ガラス「SSG®」事業

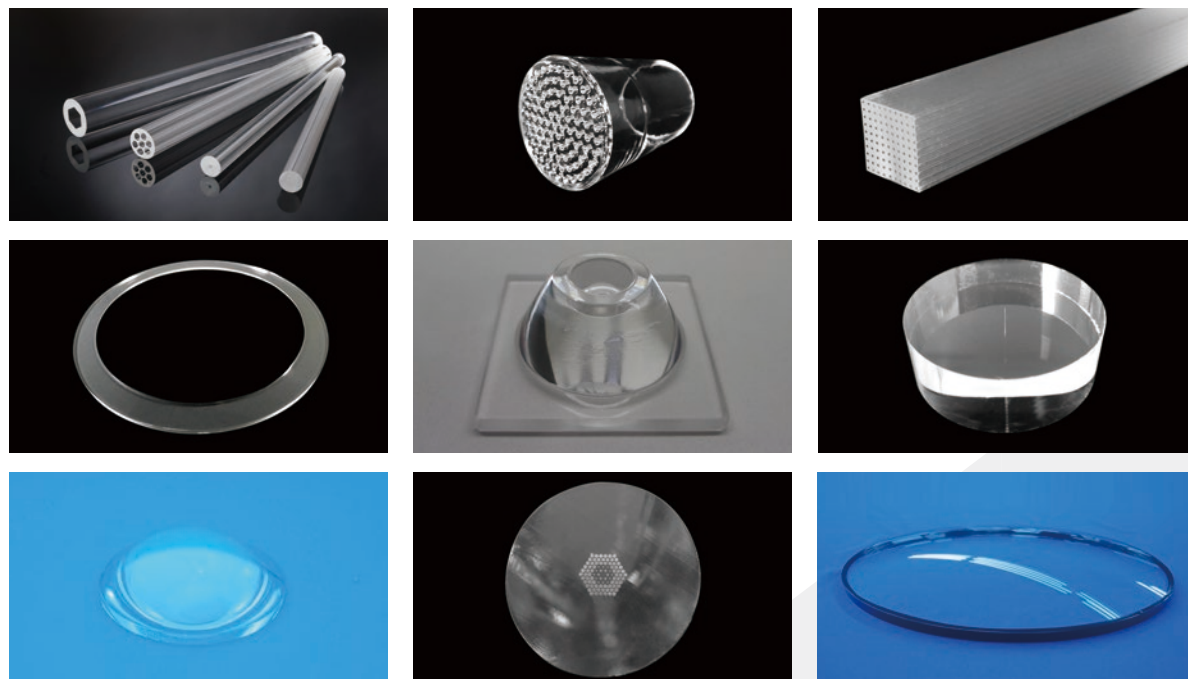
新たな成長の柱へ

独自の金型製法「スラリーキャスト法」の開発により成型の自由度を大きく改善、新たな高純度石英ガラスの市場を開拓しています。

湖北工業では、液体の状態で金型に注入しその後ガラス化する「スラリーキャスト法」を使用した高純度石英ガラスの製造技術開発に成功しました。半導体製造装置、特殊ファイバなど、高純度石英ガラスを必要とする範囲が広がる中で、無水合成石英と類似の特性を実現した「SSG®」は様々な業界から注目されています。



湖北工業の高純度石英ガラス「SSG®」製品例



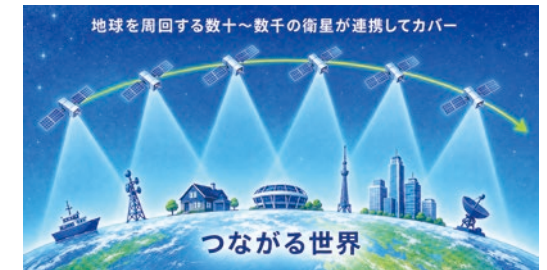
Research & Development

研究開発事例

テーマ：「極限環境」での信頼性

衛星通信機向け光デバイス

真空・放射線・極端な温度環境などの極限環境下で活躍するデバイスを開発し、国内外の研究機関や衛星機器メーカーへサンプル提供を行っています。



合波光フィルタ



光アイソレータ

テーマ：次世代材料の開発

超高速通信デバイス材料「PLZT」※

優れた電気光学効果、高い光透過性の単結晶PLZT薄膜を開発。

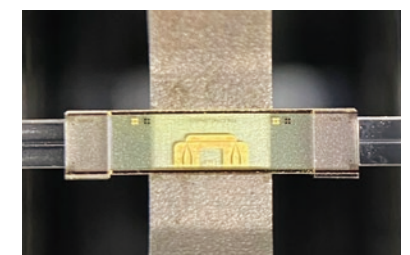
次世代AIサーバーや光量子コンピュータにおいて、演算能力の向上や消費電力の低減に貢献する光導波路基板として期待されます。



PLZT薄型単結晶ウエハ



光変調器



光変調器チップ

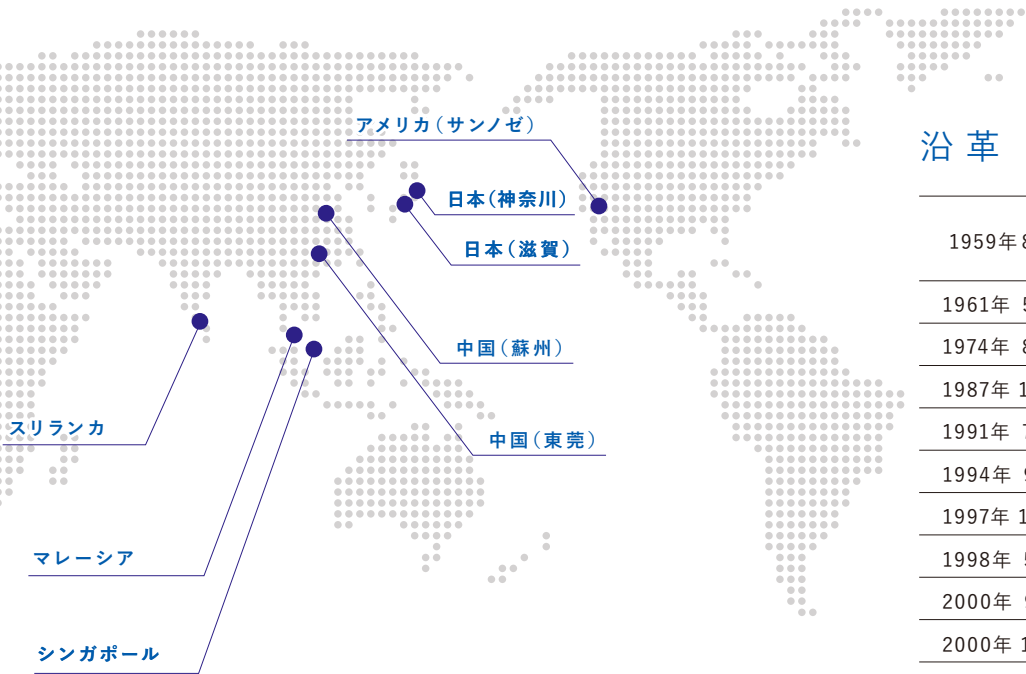
※ PLZT：チタン酸ジルコン酸ランタン鉛

Company Profile

会社紹介

会社概要

社名	湖北工業株式会社 KOHOKU KOGYO CO.,LTD.
創立	1959年8月8日
代表	石井 太
資本金	3億5千万円
本社所在地	〒529-0241 滋賀県長浜市高月町高月1623番地
事業内容	アルミ電解コンデンサ用リード端子の製造・販売 光通信用光部品・デバイスの製造・販売
グループ会社	KOHOKU ELECTRONICS (S) PTE.LTD. KOHOKU ELECTRONICS (M) SDN.BHD. 東莞湖北電子有限公司 蘇州湖北光電子有限公司 KOHOKU LANKA (PVT) LTD. エピフォトニクス株式会社 EpiPhotonics USA, Inc.



非財務活動への取り組み

湖北工業は、事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献するとともに、中長期的な視点で企業価値の向上を目指していきます。また、サステナビリティ推進に関しては、「環境」「社会」「ガバナンス」を軸として、当社グループが特定したマテリアリティに重点的に取り組み、責任あるサステナビリティ経営を実践していきます。

サステナビリティ委員会



活動事例

- 製造工程における省エネルギー化の推進
- 再生可能エネルギーの活用
- 高効率新製品の開発
- 自然環境保護、生物多様性推進への支援
- 地域などにおける教育・文化支援、スポーツ文化への支援



伊吹山植生再生支援



山門水源の森自然保護活動



小学生サッカーチーム支援

沿革

1959年 8月	滋賀県伊香郡高月町(現 滋賀県長浜市高月町)の高月町旧庁舎にてアルミ電解コンデンサの部品であるリード端子の製造を目的として資本金50万円で湖北工業株式会社を設立
1961年 5月	滋賀県伊香郡高月町に本社工場を新設、移転
1974年 8月	リード端子専用の製造工場を本社工場に増設
1987年 12月	シンガポールに製造子会社KOHOKU ELECTRONICS (S) PTE.LTD.(現 販売会社)を設立
1991年 7月	本社管理事務・研究開発棟が完成
1994年 9月	マレーシアに製造子会社KOHOKU ELECTRONICS (M) SDN.BHD.を設立
1997年 11月	ISO9001認証取得
1998年 5月	本社工場を増築
2000年 9月	光部品・デバイス事業を開始
2000年 12月	中国(東莞)に委託加工会社東莞湖北電子廠を設立
2002年 6月	中国(蘇州)に製造子会社蘇州湖北光電子有限公司を設立
2005年 8月	ISO14001認証取得
2012年 10月	東莞湖北電子廠を子会社化し、東莞湖北電子有限公司を設立
2015年 2月	FDK株式会社より光デバイス事業を譲り受けるとともにFDK LANKA (PVT) LTD.を子会社化し、KOHOKU LANKA (PVT) LTD.へ商号変更
2015年 11月	ISO/TS16949(現 IATF16949)認証取得
2021年 12月	東京証券取引所市場第二部(現スタンダード市場)に株式を上場
2023年 7月	中国(蘇州)の製造子会社蘇州湖北光電子有限公司を新工場に移転
2023年 7月	高純度石英ガラス事業として、紫外線用非球面レンズの量産を開始
2024年 4月	PLZT(チタン酸ジルコン酸ランタン鉛)薄膜形成技術を応用した技術を持つエピフォトニクス株式会社の全株式を取得し子会社化
2024年 11月	宇宙通信分野向け光システム開発に向けて、株式会社ワープスペースと資本・業務提携
2025年 1月	レーザーシステム開発会社のARIEL Photonics Assembly Limited.と資本・業務提携
2025年 12月	単結晶PLZT薄膜ウエハの販売を開始

コーポレートマークについて

当社のコーポレートマークは社の理念を形取り、私たちの意思と精神を表しています。ひし形は旧社章からの「井形」を継承しており、社名の頭文字「K」を模したものです。「顧客のニーズ」「社員の利益」「会社の利益」の三位一体の合意点を見出すという、創業の理念そのものを継承していきます。

